

ISHIKAWA トラックのひろば



[TOP NEWS]

「トラックの日」の活動

～道路清掃活動、寄付金寄贈を実施～

青年部会 北陸信越ブロック大会を開催

～「震災の記憶を未来へ」をテーマに～

小前田彰氏（小前田運輸株） 国土交通大臣表彰を受賞

～令和6年自動車関係功労者大臣表彰～

高校生を対象に自転車事故防止教育を実施

～高等学校で交通安全出前講座～

11

vol.291



今月のSPOT

七尾市(のとしま水族館)



© 石川県観光連盟

七尾市は能登の中心市町村で2004年10月1日に市町村合併により誕生しました。

七尾湾に面した場所には和倉温泉、赤穂温泉、赤崎温泉など温泉が多くあります。

今年元日に起こった能登半島地震では大きな被害がありましたが、現在復旧・復興に向けて懸命に努力を続けております。新鮮な山の幸、海の幸を味わうことができる能登食祭市場も多くの人々が来るのをお待ちしております。能登の復興支援にも繋がる意味でもぜひ七尾市へ訪れてみてはいかがでしょうか。

直通ダイヤル



代表

076-239-2511

助成・融資事業

076-239-2284

適正化事業課

076-239-2285

陸災防

076-239-2393

ISHIKAWA

トラックのひろば

C O N T E N T S

11

NOVEMBER
291号

ホームページ



1 TOPNEWS

「トラックの日」の活動

～道路清掃活動、寄付金寄贈を実施～

青年部会 北陸信越ブロック大会を開催

～「震災の記憶を未来へ」をテーマに～

小前田彰氏（小前田運輸株） 国土交通大臣表彰を受賞

～令和6年自動車関係功労者大臣表彰～

高校生を対象に自転車事故防止教育を実施

～高等学校で交通安全出前講座～

7 ご案内

DX推進セミナー

健康管理セミナー

石ト協助成制度に関するお知らせ

令和6年度 石ト協各種助成申込状況

9 10月のおもな NEWS

11 適正化 NEWS

防ごう 大型車の車輪脱落事故

13 業界 NEWS

「eナスバ」12月からスタート

令和6年度「下請取引適正化推進月間」の実施について

11月は「過労死等防止啓発月間」です

「基準緩和自動車の行政処分等要領について」の一部改正について

16 情報コーナー

11月の行事予定

会員名簿の変更

交通事故発生状況

軽油価格

19 事例研究



当協会の寄付活動に対し、北陸交通災害等遺児をはげます会の島田会長（左）から小前田副会長（右）に感謝状が贈呈されました。

TOP NEWS

トップニュース

「トラックの日」の活動 ～道路清掃活動、寄付金寄贈を実施～

石川県トラック協会（久安常信会長）は、「トラックの日」の事業として、今年も「トラックは生活と経済のライフライン」をスローガンに「クリーン作戦2024」や「北陸交通災害等遺児をはげます会への寄付金の寄贈」など社会貢献事業を実施し、身近なトラック輸送を広く県民にPRしました。

クリーン作戦2024

10月5日（土）、県下6カ所の主要道路において、会員事業者214社から576名が参加のもと、「クリーン作戦2024」を午前7時から一斉に実施しました。

9月に発生した豪雨被害により、奥能登支部での活動は中止となりましたが、6支部では、本年も朝早くからの活動にも関わらず、多くの方々にご協力をいただき、「10月9日はトラックの日」、「クリーン作戦実施中」と書かれたのぼり旗を掲げながら、歩道や溝に捨てられた空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻



県下 6 カ所の主要道路で実施したクリーン作戦 2024 には、朝早くからたくさんの方々に参加いただきました。

などを拾い集めました。

なお、本活動は、平成 6 年から継続実施し、今回で 31 回目となります。

寄付金の寄贈

また、10 月 9 日（水）には、小前田彰副会長（広報委員長）、端岩男専務理事が、北陸交通災害等遺児を上げます会（島田喜広会長）を訪ね、会員事業所や各種イベントなどで集められた寄付金を寄贈しました。

寄付金を受け取った島田会長は「長年にわたり本会の活動に支援をいただき、大変感謝している」と述べ、当協会に感謝状が贈呈されました。

なお、本活動は、平成 8 年からスタートし、本年度で 29 回目となり、寄付金は同会に登録されている交通事故や労働災害などに遭った両親を持つ子供たちの入学祝いやレクリエーション費用などに活用されています。



TOP NEWS

トップニュース

青年部会 北陸信越ブロック大会を開催 ～「震災の記憶を未来へ」をテーマに～

北陸信越ブロック青年協議会（東崎真也代表幹事）は、10月18日（金）、石川県立音楽堂（金沢市昭和町）において、全国各ブロックの青年組織から239名（北陸信越ブロック内から100名）が参加のもと、全日本トラック協会青年部会北陸信越ブロック大会を開催しました。

大会は、北陸信越運輸局の佐橋真人局長らを来賓に迎え、「絆をかたちにく共に描く物流の未来」をテーマに開催され、冒頭、主催者を代表して、東崎代表幹事（石ト協青年部会長）が「元日の能登半島地震と9月の豪雨災害に関し、全国各地から多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。本日の大会を通じ、人と人との繋がりが信頼関係を具体的な行動で実現し、互いに支え合い、共に成長することで、持続可能な未来を築いていきたい」と挨拶しました。

研修会は、「震災の記憶を未来へ」防災と復興への取り組み」と題し、能登半島地震について、当協会の青年部会員らが、被災者や支援者としての体験談や災害物流専門家としての対応状況などを発表したほか、「物流企業が災害時に果たす役割」をテーマに研究を行っている地元の金沢星稜大学の中尾公一教授が研究・取組内容などを発表しました。

ご 来 賓



出島康佑部会長
(全日本トラック協会青年部会)



久安常信会長
(石川県トラック協会)



佐橋真人局長
(北陸信越運輸局)



大会旗は次大会の四国ブロックへ



軽トラックが寄贈されました



開会の挨拶をする東崎代表幹事



青年部会員ら（写真右から順に戸坂隼斗氏、津田真偉斗氏、山田実紀秀氏、岡村諭氏、吉田章氏）による発表のほか、中尾教授（写真左）による研究内容などの発表も行われました



開宴のあいさつをする
斉藤康彦副部会長

また、研修会終了後には、全日本トラック協会青年部会の出島康佑部会長から当協会の久安常信会長に対し、復興支援活動を行うための軽トラックが寄贈されました。

研修会の最後には、大会旗の伝達が行われ、東崎代表幹事から次期開催ブロックの四国トラック青年協議会の稲見政隆会長に大会旗が手渡されました。

その後、会場をANAクラウンプラザホテル（金沢市昭和町）へと移し、交流会が開催され、参加した青年部会員同士がより一層交流を深めるなど有意義な大会となりました。

その他、能登をテーマにした物販ブースが会場ロビーに設けられたほか、能登の復興・復興のための義援金も募り、多くのご支援をいただきました。



TOP NEWS

トップニュース

小前田彰氏(小前田運輸(株)) 国土交通大臣表彰を受賞 ～令和6年自動車関係功労者大臣表彰～

10月23日(木)、国土交通省(東京都)において、令和6年自動車関係功労者大臣表彰式が執り行われ、小前田彰氏が受賞の栄誉を得られました。

小前田氏は、昭和42年4月に小前田運送店(現、小前田運輸(株))に入社し、運送業に従事、平成3年9月に代表取締役就任し、以来、永年に亘り、公共輸送機関としての使命を果たすため、運輸業界の振興と地域社会の発展に尽力してきました。

また、平成15年5月に当協会の理事に就任、令和元年6月には副会長に就任し、事業の適正化及び社会的、経済的地位の向上に注力し、献身的な役割を果たしてきました。

受賞された小前田氏は、「従業員や家族の支えのもと、協会役員をはじめ関係者の皆様方のご協力により、荣誉にあずかることができた。心より感謝申し上げる。今後も業界の発展に貢献できるよう、皆様と共に尽力していきたい」と感謝の言葉を述べました。



大型車の死角・内輪差について説明する相川氏



トラック輸送について説明する吉田氏



講師を務めた西谷氏



挨拶を行う操川支部長

TOP NEWS

トップニュース

高校生を対象に 自転車事故防止教育を実施 ～高等学校で交通安全出前講座～

金沢第二支部（操川一郎支部長）は、10月11日（金）、県立金沢西高等学校（金沢市畝田東）において、今回で三度目となる交通安全出前講座を実施しました。

本事業では、通学時など自転車に乗る機会の多い高校生を対象に、自転車事故防止のための安全教育を行っており、当日は高校一年生364名が聴講しました。

冒頭、操川支部長が「本日の講座を通じて、安全を意識した行動を習慣化していただき、交通事故を1件でも減らしていきたい」と挨拶し、その後、吉田章氏（浅野川運輸㈱代表取締役）が能登半島地震の体験をもとに、震災対応におけるトラック輸送の重要性を伝えました。

講座では、西谷嘉孝氏（金沢西警察署交通第一課長）と相川哲也氏（有コーケンサービス代表取締役）が講師を務め、自転車における交通事故事例や大型トラックの死角・内輪差などについて、実車を用いて解説しました。

生徒代表者からは「今回の講座を参考に、自転車の安全運転に心がけたい」などの感想がありました。

ご案内

DX推進セミナー

1. 日 時 令和6年12月4日（水）13：30～16：30
2. 場 所 石川県トラック会館（金沢市粟崎町4-84-10）
3. 内 容 （1）2024年問題とITの活用について
（2）DX（デジタルトランスフォーメーション）とは ほか
4. 申し込み 既にご案内しております「申込書」により、お申し込みください。

ご案内

健康管理セミナー

1. 日 時 令和6年12月6日（金）13：30～16：00
2. 場 所 石川県トラック会館（金沢市粟崎町4-84-10）
3. 内 容 （1）定期健康診断の有効活用と健康経営への活かし方
（2）睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策の基本的知識 ほか
4. 申し込み 既にご案内しております「申込書」により、お申込みください。

ご案内

石ト協助成制度に関するお知らせ

「事前申込書」の提出期限は、12月25日（水）（消印有効）となっております。但し、予算に達した場合は受付終了となりますので、お早めに提出してください。

また、事前申込書を提出し、機器の導入等が終了された事業者は、速やかに「実績報告書」などの関係書類を提出してください。

なお、以下の助成事業につきましては、予算に達したため、事前申込書の受付は終了しました。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ○EMS機器導入促進助成 | ○アイドリングストップ支援機器導入助成 |
| ○血圧計導入助成 | ○自動点呼機器導入助成 |

お問合せ （一社）石川県トラック協会 TEL 076-239-2511

ご案内

令和6年度 石ト協各種助成申込状況 ※ 10月25日現在

助成事業	申込状況
■安全装置等導入促進助成 ①後方視野確認支援装置 ②側方視野確認支援装置（中型・大型自動車に限る） ③側方衝突監視警報装置（後付け装置のみ） ④呼気吹き込み式アルコールインターロック装置、 ⑤IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器（Gマーク認定事業所が導入する場合に限る） で全ト協が指定した装置を導入した場合 ⑥大型車用トルク・レンチ	57%
■健康診断受診助成 一般健康診断を受診した場合	97%
■ドライブレコーダー機器導入促進助成 全ト協が指定した装置を導入した場合	46%
■ドライバー・安全運転管理者の安全運転教育の助成 全ト協指定研修施設において所定の講座を受講した場合	68%
■エコタイヤ・再生タイヤ導入促進助成 別で定める環境対策の取組みに効果のあるタイヤを導入した場合	98%
■環境対応車導入促進助成 車両総重量2.5t超の天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、電気トラック、燃料電池トラックを導入した場合	0%
■EMS機器導入促進助成 ※デジタコ等 全ト協が指定した装置を導入した場合	締め切りました
■アイドリングストップ支援機器導入助成 エンジン停止時に相当時間連続して使用可能な車載用冷暖房機器を導入した場合	締め切りました
■睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成 SASの検査で、第1、2次検査を全ト協が指定する医療機関で受診した場合	78%
■大型・中型・準中型・けん引免許取得及び受験資格特例教習修了助成 助成対象期間内に自動車教習所へ入校し、標記免許課程を修了、支払が完了し、標記免許を取得した場合	83%
■血圧計導入助成 全ト協が指定した機器を導入した場合	締め切りました
■信用保証協会保証料の補助（事前申請不要） 石川県信用保証協会の保証を受け、銀行から融資を受けた場合	38%
■中小企業大学校講座受講料一部助成 中小企業大学校の研修コースを受講した場合	44%
■脳健診（脳ドッグ・脳MRI）受診促進助成 脳健診（脳ドッグ・脳MRI）を受診した場合	26%
■自動点呼機器導入助成 全ト協が指定した機器を導入した場合	締め切りました
■「働きやすい職場認証制度」認証取得助成 「働きやすい職場認証制度」を認証取得した場合	14%
■インターンシップ導入助成 全ト協のインターンシップ受入事業者として登録し、高等学校以上の教育機関からの依頼によりインターンシップを受入れた場合	0%

※上記は「事前申請」が必要な助成制度です。その他の助成制度につきましては、ご案内の冊子「令和6年度助成制度」または、当協会ホームページでご確認ください。

<http://www.ishitokyo.or.jp/josei.php>

TOP > 助成・融資制度



交通・環境対策委員会

8日 車輪脱落事故防止及びチェーン着脱講習会

交通・環境対策委員会（新出勝委員長）は、講習会を開催し、車輪脱落事故防止などについて説明を受けたほか、タイヤ交換作業やタイヤチェーンの着脱方法などについて学びました。（石川県トラック会館）



石ト協

21日 「歩行者事故防止運動」街頭キャンペーン

石川県トラック協会は、街頭キャンペーンに参加し、買い物客などに啓発グッズを手渡し、交通安全及び事故防止を呼びかけました。（香林坊アトリオ前）



陸災防

22日 石川県産業安全衛生大会

石川県労働災害防止関係団体連絡協議会が主催する令和6年度（第47回）石川県産業安全衛生大会が開催され、安全性優良事業場事例発表や特別講演が行われ、労災防止への意識高揚を図りました。（石川県地場産業振興センター）

News Calendar

10月の おもなNEWS

OCTOBER 2024



石ト協

3日 第29回全国トラック運送事業者大会

石川県トラック協会は、熊本県で開催された全国トラック運送事業者大会に、久安会長をはじめ10名が参加しました。大会では、全体会議やシンポジウム、記念講演が行われたほか、「2024年問題の対応」など10項目の大会決議が採択されました。（熊本城ホール）



労働委員会

5日 集団健診

労働委員会（山田秀一委員長）は、会員従業員の健康診断機会の充実を図るため、集団健診を実施し、18名が受診しました。（石川県トラック会館）



全ト協

26、27日 第56回全国トラックドライバー・コンテスト

全国トラックドライバー・コンテストが茨城県で開催され、各都道府県の代表選手たちが運転や点検に関する技術や知識を競い合いました。当県代表の2選手も上位入賞を目指し、奮闘しました。(安全運転中央研修所)



陸災防

28日 第60回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会

陸災防石川県支部(小林篤弘支部長)は、東京都で開催された全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会に参加し、労働災害防止の意識高揚を図りました。(きゅりあん)



石ト協

30日 価格転嫁に向けた運賃交渉等相談会

石川県トラック協会は、価格転嫁に向けた運賃交渉等相談会を開催し、事前に申し込みのあった4社の担当者らが、担当した専門家に抱える課題などについて、個別相談を行いました。(石川県トラック会館)



労働委員会

22日 人材確保・労働環境改善セミナー

労働委員会は、セミナーを開催し、運転者などの人材確保に係る効果的な求人方法や人材定着のための職場環境の整備などについて、実例を用いた説明を受けました。(石川県トラック会館)



引越委員会

24、25日 引越基本講習、管理者講習

引越委員会(小林篤弘委員長)は、引越実務者を対象とした講習会を開催し、標準引越運送約款などの基礎知識や引越利用者への接客マナー、苦情対応などについて学んだほか、事例を用いたグループ討議を行いました。(石川県トラック会館)



金沢第三支部

26日 労務対策講習会

金沢第三支部(吉田修一支部長)は、講習会を開催し、トラック運送業の労働時間管理の実務などについて学びました。(石川県トラック会館)

防ごう大型車の車輪脱落事故

お

と

さ

な

い

おとさめ ための 点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。



トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。



さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。



いちにち一度は ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触るなどして点検します。



©くまね工房



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に関する調査・分析検討会 日本自動車工業会 日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車修理協会 日本自動車整備協会 全国タイヤ工務店協会 日本自動車タイヤ協会 全国石油販売協会 日本自動車整備協会 日本自動車輸入協会 日本自動車整備協会 自動車部品小売業協会 日本自動車整備協会 日本自動車整備協会



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、[車載の「取扱説明書」]や[本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ5つのポイント」]、
[下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」]などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。



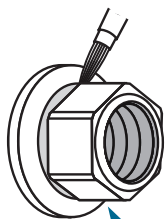
ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ISO方式

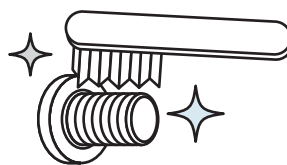
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の
注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。
また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの 履き替え	ボルト交換
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの 締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。

http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



ナスバプレスリリース

令和6年10月1日

ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)
安全指導部 大町、松澤
電 話 03-5608-7641

「eナスバ」12月からスタート 運行管理者指導講習がeラーニングで受講可能に

ナスバでは、国土交通大臣の認定を受け、自動車運送事業者で使用する自動車の運行の安全確保のため、運行管理者等を対象に運行管理の実務や関係法令、安全の確保に必要な管理手法などの指導講習を全国50支所において対面・動画視聴方式にて開催しております。

この度、ナスバでは従来の方式に加え、新たに国土交通省よりeラーニング講習の認定を取得し、一般講習及び基礎講習のeラーニング講習「eナスバ」を立ち上げました。

つきましては、令和6年11月1日よりお申込みを受け付け、12月1日から開講することいたします。「eナスバ」では、AIによる本人認証等の不正受講防止対策を行い、対面等の講習と同等の水準での指導講習を提供、インターネットを利用し、お手元のカメラ付きパソコン・タブレット等から、いつでも任意の場所で受講いただけます。

受講者の皆様方の利便性に大いに資するものとなっておりますので、ぜひご活用ください。

eナスバの魅力 受講者の皆さまの利便性が大幅にアップします！

1. どこでも、くりかえし受講可能

自宅や職場など、インターネット接続があればどこでも受講できます。さらに、受講期間内であれば確認したい講義をくりかえし受講可能です。

2. 自由なスケジュール ※1

受講期間内であれば、好きな時間に受講可能です。忙しい日常にも柔軟に対応できます。

3. 移動時間の節約

講習会場への移動が不要なので、時間を有効に使えます。

4. 簡単なキャッシュレス決済 ※2

受講料はクレジットカードやペイジーによる事前決済なので、手続きがスムーズです。

5. 領収書や修了証明書も「eナスバ」から出力

領収書や修了証明書はご自身でマイページから出力できます。

※1 受講期間は、受講する月の1日から30日間をいいます。例えば、12月受講の場合、12/1から受講が可能となり、12/30までに受講を完了する必要があります。(受講期間を任意に設定することはできません)

※2 交付金等(各協会等による受講料の助成)については、各組織で取り扱いが異なるため、当該組織までお問い合わせください。

詳細は次頁をご覧ください

NASVA

めざすのは、自動車事故ゼロの社会。

独立行政法人
自動車事故対策機構

～お申込みの流れ～



(※1)本人認証には、運転免許証、マイナンバーカード、パスポート、在留カードのうち、いずれかの書類のアップロードが必要となります。

★申込み・受講期間（令和6年度）

～12月開催分～

【申込期間】2024年11月 1日（金）～11月14日（木）

【受講期間】2024年12月 1日（日）～12月30日（月）

～1月開催分～

【申込期間】2024年11月15日（金）～12月15日（日）

【受講期間】2025年 1月 1日（水）～ 1月30日（木）

～2月開催分～

【申込期間】2024年12月16日（月）～2025年 1月14日（火）

【受講期間】2025年 2月 1日（土）～ 3月 2日（日）

～3月開催分～

【申込期間】2025年 1月15日（水）～ 2月13日（木）

【受講期間】2025年 3月 1日（土）～ 3月30日（日）

★受講手数料（テキスト配送料含む）

基礎講習：9,560円（税込） / 一般講習：3,860円（税込）

～お支払い方法～

- ・クレジットカード（対応ブランド：VISA / MasterCard / JCB / American Express / Diners）
- ・Pay-easy（ペイジー） <https://www.pay-easy.jp/>

【ご注意】お支払い後のキャンセルはできませんので、受講期間等を十分ご確認ください。

お申込みは、下記二次元バーコードからナスバホームページにアクセスいただき、お手続きをお願いいたします。



eナスバについては、ナスバホームページでより詳しくご案内しております。

<https://www.nasva.go.jp/fusegu/elearning.html>

【eナスバに関するお問い合わせ先】

（ご注意）各都道府県に所在する支所ではご対応できません。

担 当 安全指導部 指導講習グループ

電話番号 03-5608-7641

03-6853-7690

受付時間 9:00-17:00（土日祝日、年末年始等を除く）

eメール e-nas.info@nasva.go.jp



※「eナスバ」は、（一社）石川県トラック協会の令和6年度助成制度の対象外です。

公正取引委員会・中小企業庁 令和6年度「下請取引適 正化推進月間」の実施に ついて

公正取引委員会及び中小企業庁は、下請取引の適正化について、従来、下請代金支払遅延等防止法（以下「下請法」といいます。）の迅速かつ効果的な運用と違反行為の未然防止、下請中小企業振興法に基づく振興基準の遵守の指導等を通じて、その推進を図っています。特に11月を「下請取引適正化推進月間」とし、この期間に下請法の普及・啓発に係る取組を集中的に行っています。

詳細は、公正取引委員会または中小企業庁のホームページをご確認ください。

公正取引委員会 <https://www.jftc.go.jp/>
中小企業庁 <https://www.chusho.meti.go.jp/>



厚生労働省 11月は「過労死等防止啓 発月間」です

厚生労働省では、「過労死等防止啓発月間」である11月に、過労死等をなくすためのシンポジウムやキャンペーンなどの取組を行います。この月間は「過労死等防止対策推進法」に基づくもので、過労死等を防止することの重要性について国民の自覚を促し、関心と理解を深めるため、毎年11月に実施しています。

月間中は、国民への周知・啓発を目的に、各都道府県において「過労死等防止対策推進シンポジウム」を行うほか、「過重労働解消キャンペーン」として、長時間労働の是正や賃金不払残業などの解消に向けた重点的な監督指導やセミナーの開催、一般の方からの労働に関する相談を無料で受け付ける「過重労働解消相談ダイヤル」などを行います。



全日本トラック協会 「基準緩和自動車の行政 処分等要領について」の 一部改正について

国土交通より、「基準緩和自動車の行政処分等要領について」の一部改正について、通達が発出されました。

令和4年の基準緩和自動車の認定要領の改正により、Gマーク事業者のインセンティブとして、基準緩和の継続緩和において有効期間が無期限に延長されたところですが、事故等によりGマークを失った場合は、このインセンティブを失うことから、期限付の緩和認定とする再申請が必要となります。

今般の改正では、Gマークを失った事業所が、再申請をすっかり失念してしまい基準緩和の認定書を保有し続けてしまうことを防ぎ、再申請を促すことを目的として、再申請を行わなかった場合の行政処分が明確化されました。なお、再申請を遅滞なく行えば、監査対象にならず行政処分はありません。

※詳細は、全ト協ホームページをご覧ください。
や。 <https://tta.or.jp/HOME> 新着情報

EVENT CALENDAR 11月の行事予定

1日(金)	北陸信越運輸局長表彰式（新潟県） トラック輸送における取引環境・労働時間改善石川県地方協議会荷主団体要請行動（金沢市内）
5日(火)	雪道安全走行啓発活動（金沢トラックステーション） 金沢第一支部第43回運営委員会（北陸中央物流協同組合）
6日(水)	過労死等防止対策セミナー（石川県トラック会館） トラック輸送における取引環境・労働時間改善石川県地方協議会荷主団体要請行動（金沢市内）
7日(木)	石川運輸支局陸運関係功労者表彰式（ANA ホリデー・イン金沢スカイ） 能登半島地震石川運輸支局長感謝状贈呈式（ANA ホリデー・イン金沢スカイ）
8日(金)	能登支部第33回運営委員会（和よし） 中部交通共済協同組合理事会（愛知県）
9日(土)	フォークリフト運転技能講習（石川県トラック会館） ※（Aコース）10日、16日、17日（Bコース）13日～15日
10日(日)	石川県防災総合訓練（津幡町）
11日(月)	求荷求車情報ネットワーク「WebKIT」説明会（石川県トラック会館） 北陸信越ブロック適正化指導員研修（新潟県）
12日(火)	北陸信越地域事業用自動車安全対策会議（新潟県）
13日(水)	価格転嫁に向けた運賃交渉等相談会（石川県トラック会館）
18日(月)	石川運輸支局・適正化実施機関月例会議（石川県トラック会館）
20日(水)	令和6年度事故防止大会（石川県トラック会館） 第89回正副会長会議・第89回総務委員会合同会議（石川県トラック会館） 第363回理事会・第336回交付金運営委員会合同会議（石川県トラック会館）
21日(木)	石川支部第53回運営委員会（テルメ金沢）
22日(金)	はい作業主任者技能講習（石川県トラック会館） ※～23日 金沢第二支部第39回運営委員会（もんぜん）
23日(土)	加南支部ボウリング大会（百万石リゾートレーン）
26日(火)	「標準的な運賃」活用セミナー（石川県トラック会館） 北陸三県高速道路安全協議会連絡会議（ホテル日航金沢）
28日(木)	降雪期における道路交通確保に関する要望活動（石川県トラック会館） 北陸信越ブロック専務理事会議（新潟県）
29日(金)	石川県交通安全県民大会（石川県地場産業振興センター） 全ト協道路・施設委員会（東京都）

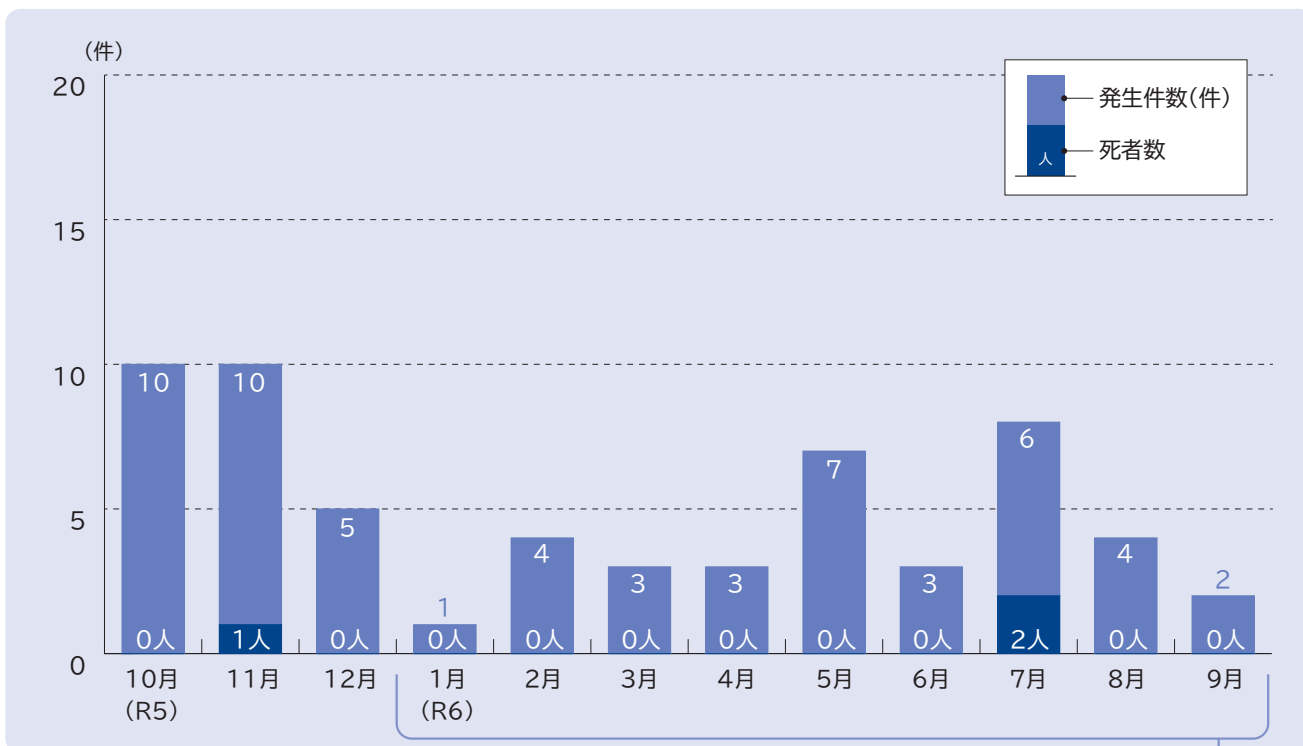
会員名簿の変更

項	行	事業者名	変更項目	変更内容
13	23	(株)二ホンパッケージ	代表者	田中 由浩
17	30	(有)山下運送	〒 所在地 TEL FAX	923-0994 小松市工業団地2-4 0761-48-7424 0761-48-7407
24	28	大和物流(株)	代表者	杉山 克博
26	15	ミナミ金属(株)	代表者	岡村 淳
33	13	日本郵便輸送(株)	代表者	中島 直樹
38	1	(株)グリーンサービス	代表者	松井 清吾
43	9	安房運輸(株)	営業所代表者	下村 勝耶
44	5	(株)ジェイアール貨物・北陸ロジスティクス	代表者	田尻 大志
45	4	星崎運輸(株)	代表者 営業所代表者	村上 直仁 細川 裕祐
53	19	瀧の川運輸(株)	代表者	瀧川 嘉明



交通事故情報

石川県内 事業用貨物車の交通事故発生状況(第1当事者)



内訳 令和6年事故類型別発生状況(1~9月)

	人対車両	車両相互							車両 単独	列車	計
		正面衝突	追突	出会い頭	追越・追抜	すれ違い時	右・左折時	その他			
件数	4(+3)	1(±0)	14(-5)	5(-5)	1(+1)	0(-1)	3(-2)	5(±0)	0(±0)	0(±0)	33(-9)
死者	2(+2)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	2(+2)

※ () 内は昨年比

(提供/石川県警)

(参考)

石川県内全車種(乗用車含む) 令和6年交通事故発生状況 1~9月(増減)

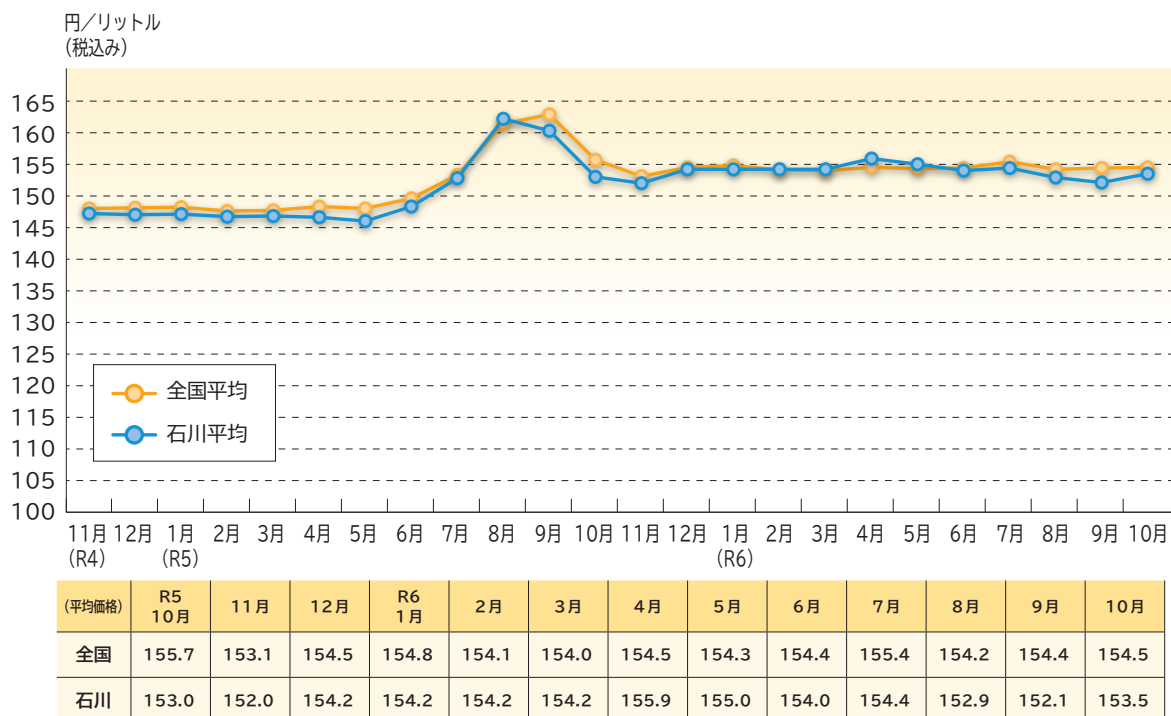
発生件数	死者数(人)
1,255(-223)	19(±0)



軽油価格情報

軽油小売価格推移表

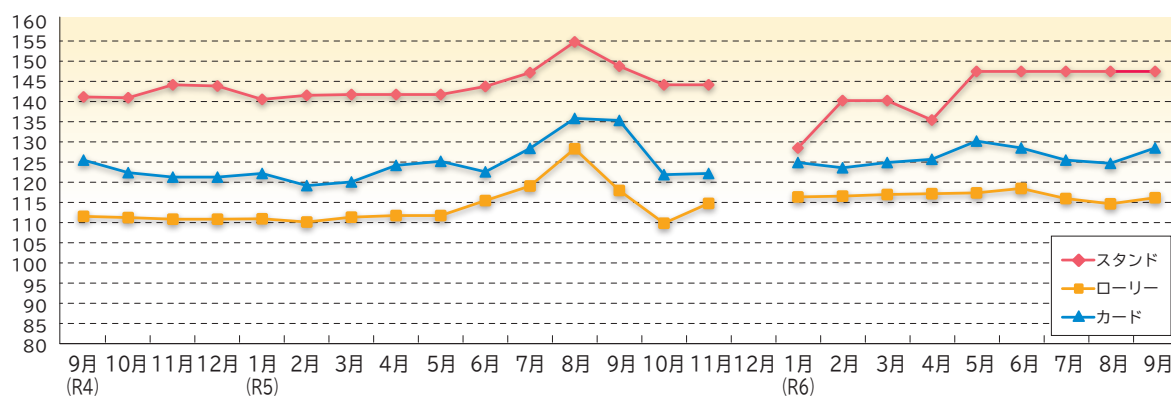
経済産業省調べ “給油所軽油小売価格”



石ト協 軽油価格等実態調査結果報告

●調査方法…県内30事業者へのアンケート調査

(地域：石川県内)



(消費税抜き)

(平均価格)	R5 9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンド	148.2	143.6	143.6	—	128.0	139.7	139.7	134.9	146.9	146.9	146.9	146.9	146.9
ローリー	117.5	109.4	114.3	—	115.9	116.1	116.5	116.7	116.9	118.0	115.5	114.2	115.7
カード	134.8	121.4	121.7	—	124.4	123.1	124.4	125.2	129.7	128.0	125.0	124.2	128.0
値上げ 要請額	0 (7社)	0 (6社)	3.8 (6社)	—	2.1 (6社)	0 (5社)	0.3 (5社)	3.1 (5社)	0 (8社)	0.6 (6社)	0.2 (5社)	0.9 (9社)	1.1 (5社)

※値上げ要請額は、要請があった事業者の平均額。() 内は、要請のあった事業者数。

※令和5年12月分の軽油価格調査は「令和6年能登半島地震」の影響等により実施できず。

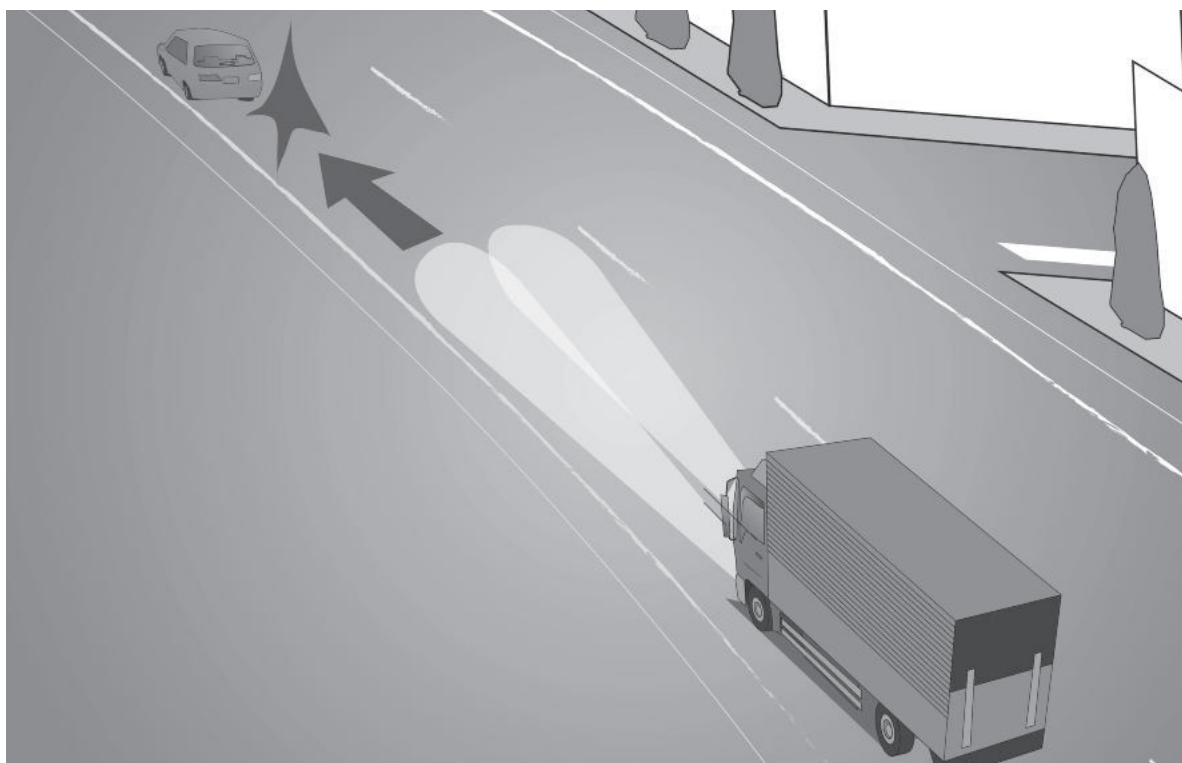
事故に
学び
安全運転に
生かす

事例研究 Re-Study17

早朝に走行中、本線の駐車車両に追突

事故の概要

- 発生日時 1月〇日(〇) 午前4時00分頃 天候 晴れ
- 発生状況 運転者は配送先に向かっている途中、片側一車線道路の本線上の故障による駐車車両に追突し重傷を負わせたもの。
- 事故当事者 54歳男性 相手側 23歳男性
- 事故原因 運転者は慣れたルートで配送先に向かっていました。時折、対向車とすれ違う程度でヘッドライトは下向きで走行、しばらくしてライトの中に駐車車両が浮かんできました。しかし、運転者はスピードを緩めることなく、そのまま進行してブレーキを踏まず駐車車両に追突したものです。運転者は漫然と走行し、駐車車両を認識しながら前方を良く確認していませんでした。



提供：中部交通共済協同組合 事故防止部

事例検討

● 直接原因

運転者は早朝で交通量が少なく単調な運転が続く中、駐車車両を認識しながら前方を良く確認していなかった漫然運転が挙げられます。

● 背後原因

運転者は慣れた配送ルートで、単調な運転が続き意識が低下した状態で走行していました。歩行者等が飛出して来るかもしれないとの危険予測もせず、故障車両は本線上でなく路肩に駐車しているとの「思い込み」もしていました。

また、運転者は対向車と時折、すれ違うことからヘッドライトを下向きから上向きに切り替えず走行していたため、車両が本線に駐車しているのに気づくのが遅れました。

再発防止策

① 運転者の対策

● 緊張感を維持し、注意力の低下を防ぐ。

慣れたルートを走行すると、時々刻々と変わる交通状況はいつもと同じであるとの「思い込み」に陥ります。緊張感を維持し高い注意力で、危険対象を探し出す意識が必要です。

● ヘッドライトは原則、上向きにする。

ヘッドライトの切り替えが煩雑で、下向き走行が習慣になりがちです。しかし、上向きは照射距離が倍以上で、早く危険を発見して回避が可能になるので上向きを原則にする。

② 管理者の対策

● 漫然運転に陥る状況を例示する。

慣れたルートで交通量の少ない単調な運転は、意識低下や「思い込み」が生じやすく漫然運転を招くことを運転者に周知徹底させ、緊張感を維持するよう伝える。

● 道路環境に応じた運転を励行させる。

夜間走行では交通状況の情報収集力が低下するので、ヘッドライトの上向きを励行、危険予測による安全確認を周知徹底させる。

ワンポイントアドバイス

冬場、早朝の運転に留意する

冬場に氷雨等で濡れている道路を走行する際は、凍結によるスリップに気を付けなければなりません。特に気温の下がる早朝は高い注意力が求められます。積雪時は最初から心構えができており、より慎重に運転しているのに対して、凍結は路面を見ても危険かどうか判断が難しいため、平常の運転をしてしまいがちです。日頃、走り慣れた道路であっても、時々刻々と道路環境は変化していると意識した運転を心掛けましょう。

提供：中部交通共済協同組合 事故防止部

クリーン作戦 2024



参加者の皆さん

朝早くからの活動にもかかわらず、ご協力ありがとうございました。

金沢第二支部



加南支部



金沢第三支部



石川支部



能登支部



金沢第一支部



※ 9月に発生した豪雨被害により、奥能登支部での活動は中止としました。